



住んでみたい 住み続けたい やまづり町

広報

小さくても輝く町

6 2011
月号

No.603

やまづり

「植樹からめばえる命育む未来」〜永遠に緑に包まれますように

- 町長初登庁・被災地への支援活動・新入団員訓練・・・P2～P3
- ゴールデンウィークの1日・東館小特別授業・生涯学習活動スタート・・・P4～P7
- 特集「老人クラブ」・油絵寄贈・矢祭中校内陸上競技大会・・・P8～P10
- わが家のイチおし・文化スポーツ団体紹介・はつらつ健康・すくすく満1歳・俳句・・・P11～P13
- 町の動き・タウントップクッス・情報局・情報カレンダー・・・P14～P22

植樹祭会場にて

古張町政の二期目がスタート

より以上の町政進展に努力

五月晴れとなった5月2日午前9時、役場庁舎前に全職員と後援会会員・支援者らが出迎える中、二期目の当選を果たした古張町長の初登庁式が行われました。

役場正門に町長が姿を見せると、一斉に拍手が湧き起り、女子職員から花束を受け取る満面の笑みを浮かべ、正面玄関までの花道を声援に応えながら歩き、庁舎に入りました。

その後、大会議室に全職員が揃った中、壇上の町長に鈴木副町長が、二期目就任にあたっての歓迎のことばを贈りました。

これに対し、町長から「多くの町民からの支援を得て、当選を果たした。二期目就任にあたり、今まで以上に町政進展に努力していきたい。28年間、一貫してきた行財政改革、融和と団結を変えることなく、今後も町政運営をしていく。今、矢祭町はキラリと光る全国の自治体から目標とされる町に育った。更に前進させ、多くの町民の要望・期待に応えていきたい。」と肅々と訓示を述べ、職員におお一層の奮起を促しました。



花束を受け笑みがこぼれる



声援に応えながら初登庁



訓示を受ける職員

総額308,514円が日本赤十字社矢祭分区に寄託

4月14日から22日にかけて、各小中学校で行われた「東日本震災の被災地への募金活動」で集まった義援金を、日本赤十字社矢祭分区長である町長に寄託したいと、5月6日児童生徒の代表と引率教諭の総勢14名が役場を訪れました。



各小中学校の代表

子どもたちの善意と保護者の協力に感謝

募金に協力したのは、小学生311名、中学生188名とその保護者全員で、総額308,514円となり、訪れた代表の中学生2年金澤愛莉さんから、町長に義援金目録が手渡されました。

寄託を受けた町長から御礼が述べられると、訪れた代表の子どもたちも、改めて今回の支援活動の意義深さを感じていたようでした。

募金に協力いただいた多くの皆さん、本当にありがとうございます。



放水訓練



隊列の作り方



ホースの担ぎ方

の指導のもとで、水揚げや放水などの実践訓練を行いました。放水訓練では、抱えた筒先から伝わる水圧の強さに驚きながらも、団員としての経験を積んでい

地域を守る町民の奉仕者として誓う 新入団員教育訓練を実施

矢祭町消防団(鈴木桂語団長)の新入団員20名を対象とした教育訓練が、5月8日山村開発センターを会場に行われました。

まず訓練に先立ち、新入団員一人ひとりを呼名し、代表の第1班小室翔志団員に辞令を交付。続いて、第1班桑原英之団員が「町民の奉仕者として、良心に従って忠実かつ公正に消防職務の遂行にあたることを固く誓います。」と宣誓を行い、消防団員としての第一歩を踏み出しました。

訓練は、地域を守る消防団員として、基礎知識の習得と心構えや火災防犯・防火思想の普及高揚に務め、機敏な行動を習得することを目的に行われ、団員の心構えについて講和を聞き、訓練礼式、消防機器の取扱い方などの実技指導を受けました。

その後、会場を田川に移動し、矢祭分署員の指導のもとで、水揚げや放水などの実践訓練を行いました。放水訓練では、抱えた筒先から伝わる水圧の強さに驚きながらも、団員としての経験を積んでい

春本番

カメラが捕らえたゴールデンウィークの1日

5月に入り農家の皆さんは、代かきや田植えが本格化し、さらに畑作業も始まり、忙しい毎日が続きました。

今年のゴールデンウィークは、東京電力福島第一原発事故による風評被害の影響で、矢祭山公園も例年より客足が少なく、通行車両も少なかったようですが、それでも公園内を散策する家族連れやグループ、鮎の塩焼きや団子を買って求めるお客さんの姿がありました。

一方、滝川渓谷も例年と比べると入山者が少なかったようですが、取材にお邪魔した時には、「滝川の里」には大勢のお客さんが、野外テーブルで搗き立ての餅や手打ちそば、うどんを味わいながら、のどかな春の一日を過ごしていました。



畦畔の草刈り



代かき作業



田植えも本格化



丁寧に補植作業



野菜苗の植え付け



家族総出の田植え



カヌーを楽しむ若者（関岡地内）



山菜狩りに多くの入山者



「滝川の里」野外休憩所



一休みするご夫妻



矢祭山駅前商店



矢祭山駅前駐車場

東館小学校で特別授業

5月6日、東館小学校(佐戸仙助校長)で6年生を対象に「放射線と健康」と題した特別授業が、総合的な学習時間に行われました。

講師は、放射線専門医で埴町「久慈の郷」施設長の星竹敏先生(埴厚生病院副院長)で、放射能についての風評被害が収まらない中、放射能に関する正しい知識や情報(「久慈の郷」公式ホームページ参照)について、子どもたちに分かりやすく説明しました。

講和が終わると、校長先生が進行役となり質問コーナーを設け、子どもたちからの質問を聞き出しては、星先生に問いかけました。これに対し星先生からは、分かりやすい説明が返ってくると、質問した子どもの顔に安心した表情が浮かびました。

現状の屋外放射能値での健康被害は考えられません。



疑問を話す6年生

熱心に説明する星先生



真剣に話を聞く6年生

星先生が埴町「ふれあいネットワーク」で講演した内容の一部を抜粋しました。

急性被曝での健康障害は、不幸な事件(原爆被爆者、原子炉事故直近被曝、不注意での臨界事故など)の解析から、ある程度線量と健康被害についてここまでなら健康被害のない安全値(しきい値(閾値ともいう))を設定できているが、慢性被曝(低線量での繰り返し被曝)での積算値(累積値)が、急性被曝と同等の確率で健康被害を及ぼすかについての実証されたデータはまだ無いということが、話しの中核でした。

即ち、環境に放射性物質が拡散した事件は、米ソ英仏の放射能内核実験(1945-1963)、スリーマイル島原発事故、チェルノブイリ原発事故、英国核燃料再生工場の排液海洋投棄の4つが有名ですが、この中で唯一、チェルノブイリでの周辺での小児甲状腺癌増加が関連ありとされているだけで、白血病やその他の癌発生率の上昇は25年過ぎた現在でもチェルノブイリ付近での報告はまだありません。

この話をすると、すぐにロシアやウクライナ政府が隠しているとか言う方がいますが、ちょっと考えてみて下さい。今時、自分の身内がばたばたと癌や白血病が出て死んだ時に、黙っている人がどこの世界にいないでしょうか。秘密警察が口を封じているとでもいうのでしょうか。

今47、76才の日本人は少女だった頃の大気圏内核実験で、今より数百倍のセシウムが体内にあったことがあり(蓄積はしない)、「死の灰を浴びて死ぬ」とか「雨に当たると毛が抜ける」、「ストロンチウムが骨に蓄積して溶かす」などといわれて育った世代です。それにもかかわらず、まだ、他の世代に比べて死亡率が高いなどは一度も聞いたことがありません。すべて当時の反核風潮の中の与太話でした。

東電の大失敗は到底、福島県人にとって許せるものではありませんが、今後繰り返し返しの水素爆発が続かない限り、放射能は必ずその強さを減じますので、燃料棒冷却問題は収束しつづると言う東電が嘘を言っていないことを祈るだけです。

生涯学習活動が再スタート! 合同開級式を実施

5月7日、小学1年生から89歳の高齢者に至るまでの老若男女が一同に会し、生涯学習合同開級式が、山村開発センターで開催されました。

開級したのは、小学生とその保護者69名が参加した「ふるさと探検隊」、6団体209名が加盟する女性団体連絡協議会、高齢者74名が入学した平成大学の3学級です。

開級式で、主催者の町長が「生涯にわたり学ぶことは大きな意義がある」と挨拶。続いて二階堂教育長が挨拶し、来賓の富永議長から祝辞を



開級式の様子

とにかく、累積線量被曝が急性被曝線量と同じ健康被害を起こすというの「直線的しきい値無し(Linear No Threshold)」モデルという仮説で考えているだけで、今までの人類の不幸な事件ではそれが正しいことの証明はされていませんので、東電や政府が嘘をつこうがつかまいが、現状での屋外放射能値で将来の健康被害が出ることは現時点で考えられません。よって、「何も心配せずに外で遊ぶてください」と伝えました。もちろん、このような原発事故での放射線騒ぎがあるのが無かろうが、ある一定の率で癌や白血病は誰にでも発症するので、将来、お母さん達がもしもこれらの病気が我が子に出た時、「あのとき放射能を注意しなかったせいだなどと悔やむといけないので、常識的にあえて雨の中を走り回るとか、汚染地域の土遊びをするなどはやめておいて下さい」との注意をして講演を終りました。

「久慈の郷」公式ホームページより



代表者誓いのことば

表本多里奈さん(関岡小)がそれぞれ誓いのことばを述べ、今年度の学習活動がスタートしました。

平成大学と女性団体連絡協議会の第1回学習は、昔話の語り部、埴町の菊池トヨさんを講師に迎え、「懐かしい昔話の世界に親しもう」と、「かっぱのすりばち」他・多数の昔話を聞きました。トヨさんは、110余りの民話が頭にあり、感情を込めた方言や訛りを織り交ぜながら、素朴な語りで聞く人の耳と心を捉えていました。

一方、ふるさと探検隊は、会場を視聴覚室に移し、室内で楽しめる「スポーツ吹き矢」に挑戦しました。初めて挑戦する子どもたちも多く、的をめぐり矢を吹きつけ、中心に当たると歓声が沸いていました。



感情を込め語るトヨさん



初挑戦する吹き矢

元気な高齢者の皆さんへ 若げえ頃思い出し、集まる場つくってみねえげ！

老人クラブ数は全国的にも年々減少しており、矢祭町も同じ傾向にあります。

現在、矢祭町には10団体（会員367名）の老人クラブが登録していますが、新規加入する高齢者がおらず、現会員の高齢化が進むだけで、将来は解散となる可能性があります。これは年金制度改革に伴って、65歳まで働く人が増加していることや、60歳以上でもまだ現役で多様な趣味を優先し、楽しむ人が増えたためとも言われています。

また、老人クラブに入ると「人間関係がわずらわしい」「老人になりたくない」「ほかの団体・サークル活動で十分」といった理由が上げられています。

特集 老人クラブを考える



幼児との交流



スポーツで汗を流す



地域を明るく



みんなが集えばまた楽しい

ある大学教授は、「長寿社会を迎え、60歳代に老人の意識がなく、年齢で区切るのは無理がある。しかも社会の価値観が多様化しているにもかかわらず、老人クラブの目的や活動内容が変わっていない。新しいリーダーを養成し、役員交代を積極的に行えば活性化するのではないか。クラブ運営や活動内容に若い世代の意見を取り入れることも必要である。」と提言しています。

町内には、地域・家庭を支える元気な高齢者が大勢います。新しい発想で老人クラブを立て直し、活性化しませんか。老人クラブが無い地区には、新しく集う場をつくり、お互いに励まし、支え合いながら、健康で楽しい、生きがいのある日常生活を送ってみましょう。

あなたの「元気」を地域へ還元し、「元気子どもと高齢者の声が響くまち」をつくりましょう。

「集まったら、何やつへやつ？」 老人クラブ活動の一例

- 生活豊かなにする楽しい活動）
- 健康づくり、シニアスポーツ
ねたきりゼロ運動、健康学習、クラブ体操、ウォーキング、各種のシニアスポーツなど
- 趣味・文化、レクリエーション
趣味・文化・芸能などのサークル活動、旅行など
- 学習活動、リーダー研修
各種学習講座の開催、老人クラブ活動のリーダー研修の開催など
- 地域を豊かにする社会活動）
- 友愛訪問、ボランティア活動、社会奉仕の日
在宅福祉を支える友愛訪問、福祉施設他のボランティア活動、社会奉仕の日の活動など
- 伝承活動、世代交流
地域の文化・伝承芸能・民芸・手工芸・郷土史・生活記録等の伝承活動、子どもや青年などとの交流活動など
- 作業・生産、環境美化・リサイクル
農作物や花の栽培、植林、手工芸品の製作、公園や公共施設の環境整備や運営管理、リサイクルなど
- 提言・提案
生活調査・点検（モニター）活動、関係機関への提案など

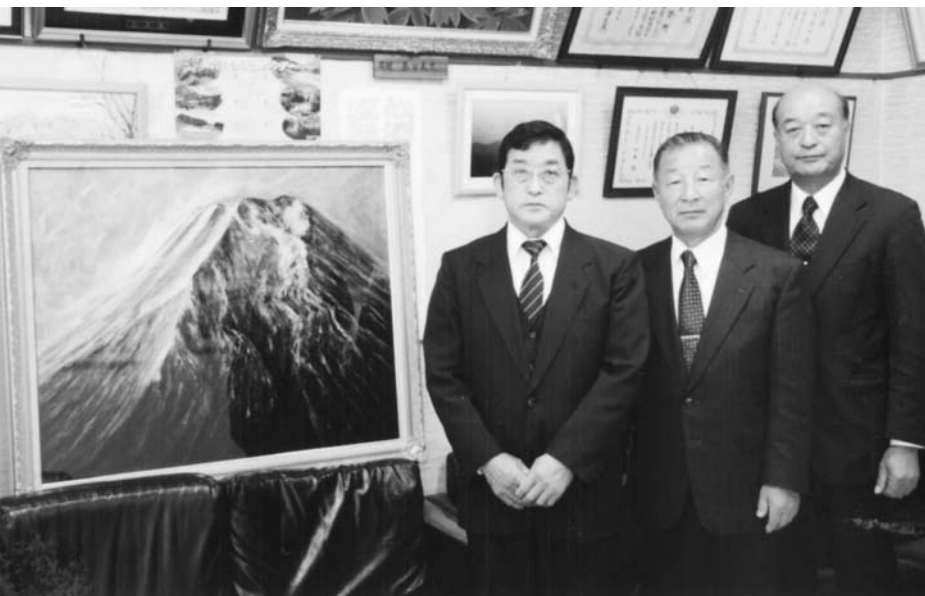
やるごとはいっぺいあるんだわ。
少しみんなまで話してみよう。

※ご相談は、矢祭町社会福祉協議会へ（TEL34-1050）
連絡を待っています。

立派な油絵を寄贈

「町長室に掲載を」と

中石井・黒
助出身で、埼
玉県在住の画
家菊池利次さ
んが、5月2
日同級生の緑
川進議員と
もに町長室を
訪れ、町に菊
池さんが書いた油絵作品1
点を寄贈しま
した。



贈呈された作品と菊池さん(左) 町長・緑川議員

寄贈された作品は、早春に朝日が差し込む富士山を描いた40号（縦95cm・横115cm）の大作で、「町長室に絵画がないので寄贈したい」との申し入れから、このたび実現しました。

町長からは「立派な作品であり、町長室に掲載する前に、当分の間ユーパル矢祭に掲載し、多くの皆さんに見てもらおうことにします。」との思いを伝えると、菊池さんからは感謝の言葉が漏れました。

大きな声援が校庭内を走る 矢祭中学校校内陸上競技大会

さわやかな天候の下、競技日和となった5月9日、矢祭中学校で第46回校内陸上競技大会が開催され、10種目の競技に熱戦が繰り広げられました。

同大会は、生徒の体力向上と陸上に親しむ機会を与え、学級の和と士気の高揚を図ることなどを目的に開催され、先生方が大会役員を務め、生徒会役員を中心に補助員となって競技運営にあたりました。

校庭では、スタートの合図とともにクラスメートから大きな声援が送られ、選手たちも自己ベストを出そうと夢中で走っていました。



1500M走



走り高跳び



夢中で応援するクラスメート



砲丸投げ



100M走



100Mハードル

「家読でコミュニケーション」

わが家のイチおし この一冊

— 矢祭もったいない図書館所蔵本から —

森の戦士・ボノロンシリーズ

文 北原星望
絵 永山ゴウ
プロデュース 原 哲夫
出版社 コアミックス

このボノロンシリーズは、セブンイレブンにて無料で借りることが出来ます。このお話は、毎回、オレンジ色の巨人ボロンが登場し、主人公が悲しんでいる時、手助けをするために現れます。悲しいことがあっても、前向きにがんばっている主人公。それを支える周りの思いやりや暖かさが表現され、どのシリーズも心温まるストーリーです。

ふたりはきょうも

作・絵 アーノルド・ローベル
出版社 文化出版局

この本は、一冊に短いお話が何篇か綴られていて、シリーズで5冊あります。なかでも「おてがみ」というお話は、教科書にも取り上げられています。この本を図書館で息子が見つけた時は、驚き喜んでいました。とてもシンプルなお話で、夜、息子に読み聞かせていたところ、読んで自分の方が眠たくなってしまいました。そのくらいほのぼのとした素直な温かさが伝わり癒される本です。低年齢のお子さんやお孫さんとの家読に、ぜひお薦めの本です。おやすみ前の一冊としていかがでしょうか。



矢祭もったいない図書館利用者

益子 恵実さん
美雲ちゃん
結斗くん



矢祭もったいない図書館利用者

金澤 順子さん
佳佑くん
依吹くん

やまつりの「文化・スポーツ団体」紹介コーナー⑥

矢祭町フラダンス愛好会

◇代表者 金澤光枝 会員数25名

◇平成20年11月創設

◇団体紹介

「美容と健康」をモットーに結成して、2年半を迎えます。町文化祭の芸能発表会をはじめ、各種イベントへの参加や介護施設への慰問など回を重ねるごとに、フラダンスの魅力を笑顔で伝えることを実感しています。25名の麗しき乙女たちは、いつも和気あいあいの中、元気一杯、明るさ一杯、笑顔一杯で楽しく練習しています。ホットなチームを保ち、いつまでも踊り続けていこうと思います。



楽しさを笑顔で伝える会員の皆さん

こっぴみじん 木端微塵

◇代表者 石井憲治 会員数24名

◇昭和61年3月設立


◇団体紹介

創部25年の野球チームです。結成は、篠田光広さんを中心とした同級生で結成しました。チーム名は野球好きの素人集団で、試合に出ても恐らくこてんぱんにやられるだろうと「木端微塵」と名付けました。今は、大会参加のほかに矢祭中野球部の練習試合相手になったりし、楽しくやっています。もちろん懇親会でも全力投球しています。チーム数が増えるのもっと楽しいですね。皆さん、野球やりませんか！ヨロシクです！



メンバーの一員

すずき なつほ
鈴木 夏帆 ちゃん
(6月8日生まれ・中石井)
いつもニコニコ、元気で食欲旺盛。
何でも興味津々な夏帆。元気にたくましく、笑顔を絶やさず育てね♡
(父・母より)



あくあく
満1歳
お誕生日おめでとう!!


やたべさき
谷田部咲希 ちゃん
(6月21日生まれ・関岡)
すくすくと明るく元気な女の子に育ってね。
(パパ、ママより)




こばやし あい
小林 愛 ちゃん
(6月29日生まれ・中石井)
大好きな愛ちゃん?これからも元気にいっぱい遊ぼうね。
(パパ、ママより)



すずき つぐみ
鈴木 亜海 ちゃん
(6月27日生まれ・下石井)
つぐみちゃんの行動には、毎日驚かされます。(笑) これからもたくさん笑って、元気にすくすく育てね。
(パパ、ママより)



いしい さな
石井 紗南 ちゃん
(6月24日生まれ・小田川)
いつも笑顔で元気をくれる紗南。成長していく姿を楽しみにしているよ。元気にいっぱい育てね。
(パパ、ママより)



Health Check
はつらつ健康
保健だより

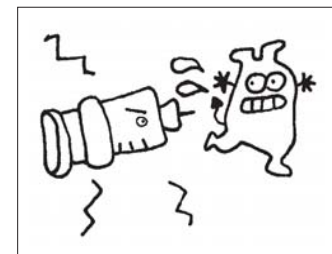
しきゅうけい
子宮頸がんについて

☆子宮頸がんとは
子宮頸部(子宮の入り口付近)にできるがんです。子宮がんには、子宮の奥に発生する「子宮体がん」と「子宮頸がん」の2種類があります。
原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)で、このウイルスは、皮膚や粘膜に存在するごくありぐれたウイルスです。

人に感染する型は、100種類以上ありますが、子宮頸がんの原因となるのは15種類ほど、性交渉により感染します。女性の最大80%の女性が生涯一度は感染するといわれています。

☆感染してもがんになるのはごく一部
発がん性のHPVに感染しても90%以上は体内から自然に排除されるため、一過性です。排除されなかったり、一部のウイルス感染が長時間続くと、子宮頸部の細胞に異常な形態を示すようになり、がん化するといわれています。しかもHPVは一度排除されても、何度でも感染します。

☆子宮頸がんの初期は無症状
初期には、自覚症状はありませんので、検診で見つかることも少なくありません。進行するにつれ、おりものの異常・不正出血・性交後出血・下腹痛などの症状が現れます。



☆子宮頸がん予防ワクチン
HPV16型、HPV18型の2種類は、その他の発がん性HPVに比べて、特に子宮頸がん患者から高い頻度で見つかっているウイルスです。平成23年3月現在、国内で市販されているワクチンは、この2種類の感染による子宮頸がん及びその前がん病変に対して、予防効果が高いとされています。しかし、予防接種は定期的な子宮頸がん検診の代わりとなるものではありません。

☆子宮頸がん検診の重要性
今ある子宮頸がん予防ワクチンでは、すべての子宮頸がんを予防できません。20歳からの子宮頸がん検診を必ず受ける必要があります。将来子宮頸がんにならないために、「ワクチン接種」と「定期的な検診」の両方がとても大切です。

矢祭町では、平成23年度から接種を希望する中学生女子に対して、予防接種費用の助成をおこなっています。対象者には子宮頸がん予防ワクチン接種済証を交付しますので、接種前に医師の説明を受け、ワクチンの効果や副反応等を十分ご理解の上、接種を受けてください。
なお、子宮頸がん予防ワクチンは、保護者の意思による任意接種で受けるもので、法律上の努力義務はありません。

俳句

ふきの芽句会

滝の石飛沫に濡れて時鳥
雨後の風可愛い園の鯉幟
穀雨に出終い日もまた穀雨落つ
うららかや温みし畔のにぎりめし
みどりさす厨に届く初鯉
種下す唇に一粒万倍日
柿若葉二階迄来て思案顔
老鶯やくつきり着きし座り皺
蓮見 ふう

鈴木 良夫
石川 柳子

秒針の音のさやかに明けやすし
夏めくやケースの人形後向き
つくばいの水ふくれ来て燕来る
陽炎の中に迷える心置く
松本志津子
佐藤たつ江

もの芽や毒も薬も知りつくし
味めしの匂い豊かや空海忌
鈴木 幸子



歓迎の挨拶をする町長



立派な記念標柱が建立

式終了後、4町村長、棚倉森林管理署長、県南農林事務所長、児童代表2名による記念標柱の埋没が行われ、立派な標柱が建立されました。続いて森林管理署職員から植樹の説明を聞いた後、会場周辺の山腹に分散し、用意された苗木15種218本の植樹が行われました。作業は、さわやかな空気に包まれ、沢音が心地よい中で行われ、阿武隈山系の自然や造林事業の大切さを改めて認識する植樹祭となりました。

平成23年度植樹祭を実施

棚倉森林管理署主催、東白川地方町村会共催による植樹祭が、5月18日に森林管理署、郡内4町村、議会、県出先機関、警察、消防、林業団体ほか、一般参加者、東館小児童など約150人が参加し、上関河内字馬渡戸国有林内で行われました。

式では、主催者の嶋田忠棚倉森林管理署長が挨拶し、次いで町長が「山の木は空気や水をつくる大切な働きをしていることを再認識し、町全体が常に緑に覆われることを願うばかりです。」と開催地歓迎の挨拶を行いました。



植樹祭会場

テーマは
「植樹からめげざる命育む未来」

地域を愛する心と奉仕の精神を養う 下関河内小学校で滝川溪谷探検活動

朝方までの雨が止み、さわやかに晴れた絶好の活動日和となった4月28日、下関河内小学校(吉田信也校長)で全校生34名と引率の先生方9名が参加し、滝川溪谷探検活動が行われました。



きれいにしようとして一生懸命



高台から1枚



遊歩道を踏みしめる探検隊

探検隊は、リュックを背にした子どもたちが、雑巾とバケツ、ゴミ袋を手に、溪谷沿いにある案内板や自分たちが立てた看板の拭きそうじをしたり、遊歩道のゴミ拾い活動などを行いました。溪谷には、豊富に流れ落ちる水音が響き、木々の緑や石に生える苔の緑が差し込む光に輝き、筆舌しがたい景観を生み出し、子どもたちにとって心身を癒す貴重な時間となりました。

さらに良かったことは、手にしたゴミ袋にはわずかな量のゴミだけで、入山者のマナーの向上と保全管理が行き届いていることが伺われ、活動のねらいである「滝川溪谷の良さを味わい、これを守り育てていこうとする気持ちを育てること」がしっかりとできた一日でした。

本との結びつきを手助けするリーダー要請 矢祭子ども司書講座がスタート!

第3期矢祭子ども司書講座の開講式が、5月14日矢祭もったいない図書館で行われ、小学4年から6年生までの受講生16名が出席しました。



誓いの言葉を述べる菊池さん

式は、受講生一人ひとりと呼名し、町長から受講生証の交付を行った後、町長、芳賀輝夫教育課長が「一人でも多くの人が本をたくさん読むよう伝える立派な司書を目指してください。そして読書のすばらしさを全国に広げようがんばってください。」と挨拶しました。

これに対し、石井小6年の菊池大誠(たいせい)さんが「みんなが本を好きになり、読書のすばらしさ、楽しさを伝えられるよう努力します。」と誓いの言葉を述べ、多くの来賓から激励の言葉が贈られました。

閉式後、オリエンテーションを実施し、続いて県立図書館遠藤豊主任司書を講師に「司書の仕事のあれこれ」と題した講義を聴講し、第3期講座(13講座カリキュラム)がスタートしました。



開講式に臨んだ受講生

カンガルーくらぶに遊びに来ませんか! 子育て講座はこんなことをしていますよ。

カンガルーくらぶでは、月1回子育て講座を行っています。内容は、保育士による手あそびや歌あそび、親子で楽しめるあそびの紹介、季節行事、絵本や紙芝居の読み聞かせなどです。

子育て講座は、子育てに役立つさまざまな遊びや情報を知ってもらい、子育てをより楽しんでもらいたいという思いがあります。

今年度の最初の講座は、5月11日に「小麦粉粘土あそび」を行い、赤・黄・緑の3色の小麦粉粘土で好きなものを作りました。粘土はひんやりと冷たくて感触が良く、触っているだけでも嬉しそうなお子どもたち、お家の人といっしょに果物や車などを作るとお子どもたちの顔は、みんな楽しそうでした。

そして、十分にあそびを楽しんだ後は、各自どんなものを作ったかみんなの前で発表しました。それぞれに個性のある作品が出来上がり、参加したお家の人も子どもたちもみんな満足そうでした。

なお、今月は6月14日(火)に「布おもちゃ作り(お花の手袋)」の講座を開きます。



畳の上でリラックス

「ふれあいと対話が築く、明るい社会」 東白川地区更生保護女性会で総会

4月27日、平成23年度東白川地区更生保護女性会（川瀬絹子会長）の総会が、山村開発センターで開催され、郡内から58名の更正女性会会員が出席しました。



総会のようす

総会は、更生保護女性会綱領を全員で唱和し、川瀬会長挨拶、町長、寺島良夫東白川石川保護司会理事が来賓祝辞を行った後、協議が行われました。

協議では、平成22年度事業報告、収支決算報告及び監査報告が行われ、すべて報告の通り承認されました。平成23年度事業計画案、収支予算案についても、原案の通り承認・決定いたしました。また、任期満了に伴う役員改選が行われましたが、全員再選となりました。

なお、矢祭町関係の役員は、次のとおりです。（敬称略）
副会長 菊池千枝子 理事 小松清子 角田利江

※東白川更生保護女性会とは
犯罪の予防、青少年の非行防止及び犯罪者の改善更正等に協力し、地域社会の浄化活動を促進することを目的に、東白川郡内に居住し、更正保護事業に協力する女性をもって組織する会です。

矢祭町女性団体連絡協議会総会

「女性の地位向上と町を良くするために」

平成23年度矢祭町女性団体連絡協議会（鈴木英子会長）の総会が、4月27日に加盟団体代表者が出席し、中央公民館で開催されました。

総会は、鈴木会長挨拶、芳賀輝夫教育課長が来賓祝辞を行った後、平成22年度事業報告と収支決算報告、平成23年度事業計画案と収支予算案について協議が行われ、原案どおり承認・決定いたしました。



挨拶する鈴木会長

続いて役員改選が行われ、新会長にJA矢祭支店女性部長の鈴木光江さんが選出され、副会長以下は次のとおりとなりました。（敬称略）

会長 鈴木 光江（JA矢祭支店女性部長）
副会長 大森 とも（警青の会）
鈴木ひろ子（商工会女性部）
監事 矢内 光子（消費者友の会）
大森 春美（婦人会）
理事 鈴木 英子（アゼリア学級）
石井なみ子（JA矢祭支店女性部）
事務局 高沢 春子（中央公民館）

矢祭町保育所で 交通安全教室を実施

春の全国交通安全運動期間中の5月12日、町保育所（本多文子所長）で交通安全教室を開き、園児たち交通安全の大切さを呼びかけました。

教室は、花見秀一東館駐在所長と和田昌造交通専門指導員が講師となり、交通安全に関する話と交通安全ビデオを鑑賞し、交通事故の怖さや横断歩道の渡り方、車に乗るときの注意点などを勉強しました。



「話しわかった?」「ハイ」と園児たち

狂犬病予防注射を実施

4月26日から28日までの3日間、町内8箇所で行った狂犬病予防注射を実施しました。

飼い主は、狂犬病予防法で年1回狂犬病予防注射の接種が義務づけられており、今回は48頭の飼い犬に予防注射の接種を実施しました。



獣医師による注射

- 飼い主の皆さんへ
- ・犬の放し飼いは禁止です。運動に出かける時は、必ず引き綱をつけてください。
 - ・犬のフンは放置せずに、飼い主が責任を持って持ち帰ってください。
 - ・隣近所に迷惑をかけないように気を配ってください。
 - ・飼い犬が行方不明になった時は、役場町民福祉課に届け出てください。
 - ・無駄な繁殖をさせないよう去勢や避妊手術を行ってください。

お互いにマナーを守りましょう！ 間もなく鮎釣りが解禁

6月5日（日）久慈川の鮎釣りが解禁となり、町内をはじめ県内外から多くの太公望が訪れます。

農家の皆さんへのお願いです。水田除草や畦草刈りが出る草などを用排水路に流さないでください。河川を汚し、釣り人への迷惑となります。

次に、太公望の皆さんへのお願いです。マナーを守り、河川敷や農道などにゴミを捨てないでください。

お互いにマナーを守り合うことで、気持ちの良い自然環境が保たれます。

放射線数値測定器を寄贈 東白川ロータリークラブ

福島第1原発事故による放射能漏れが収束せず、住民不安が続く中、5月12日に東白川ロータリークラブ（富永明彦会長）から町に放射線数値測定器1台が寄贈されました。



寄贈する富永会長（左）・佐藤幹事（右）



寄贈された測定器

福島第1原発事故による放射能漏れが収束せず、住民不安が続く中、5月12日に東白川ロータリークラブ（富永明彦会長）から町に放射線数値測定器1台が寄贈されました。

現在、役場で使用している測定器は、県からの借用物であり、今後は町民への貸し出しも可能となりました。

なお、役場での毎日の放射線量は1時間当たり0.13〜0.14マイクロシーベルトで、健康への影響はありません。参考までに、胸部レントゲンは100〜300マイクロシーベルト、胃のX線撮影は4000マイクロシーベルトの放射線量です。



昨年の解禁日のようす

子どもたちの元気は、町の元気！「春季大運動会」

5月21日、東館、関岡、石井小学校と石井幼稚園の春季大運動会が開催され、各校とも工夫を凝らした種目や演技に、子どもたちの頑張る姿が随所に見られました。少ない人数でも子どもたちの元気と熱気が伝わり、それを声援する保護者や家族皆さんの顔は輝いていました。指導に当たられた先生方も、子どもたちの演技や動きに表れたことで苦勞が報われたことでしょう。

また、今回は中学1年生たちが母校の運動会を手伝おうと、裏方で準備の協力や校庭への水まきなどの奉仕活動が行われました。どうして手伝うことになったのか聞いてみると「誰かが何気なく言い出したら、みんなでやろう。」ということになったとのことで、今までの教育活動の成果に花が開き出しました。

東館小学校は、「がんばろう東北！負けないぞ、ふくしま」をスローガンに全26種目の演技に全校生が全力で取り組んでいました。高学年の南中ソーランではピッタリと息の合った見事な踊りが見られ、会場全体がその雰囲気にも包まれ、大漁旗が大きくなびていました。



関岡小学校は、区との合同運動会で「一致団結、みんなの力で突き進め！」をスローガンに掲げ、児童・保護者・区民が一体となり、全19種目に熱心に取り組んでいました。また、区民の皆さんも母校での有意義な一日を過ごし、農作業疲れを癒すひとときとなっていました。



石井小学校と石井幼稚園合同の運動会は、「力を合わせて羽ばたけ石井の子～みんなががんばろう」のスローガンのもと全19種目に熱演・熱戦が繰り広げられました。観戦する保護者もわが子の姿を見つけると、声援が一段と大きくなり夢中で応援していました。



行事 & お知らせ 情報局

平成24年度矢祭町職員 (資格免許職)採用候補者 試験公告

◆権職種及び採用予定人員
保健師 若干名

◆受験資格

昭和61年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた者で、資格・免許を有する者又は平成24年4月(登録済証明書発行時期)までに取得見込みの者(学歴は問いません)

◆試験の方法及び期日、時間、場所

○第1次試験
教養試験・専門試験・一般性格診断検査
平成23年7月24日(日) 午前10時から午後3時30分

福島大学(福島市金谷川1番地)

○第2次試験 第1次試験合格者に対して、個別面接による試験

◆受験手続

申込用紙に必要事項を記入して、矢祭町役場に提出してください。申込用紙は、矢祭町役場自立総務課総務グループで交付します。

◆受付期間

平成23年5月26日(木)から同年6月24日(金)まで(執務時間中に限りです)。

問 矢祭町役場自立総務課
TEL(46)3131

東日本大震災により被害を受けた方へ税金関係のお知らせ

大震災により被害を受けられた方は、所得税の軽減・免除が受けられ、税務署で手続きを行うことで所得税が還付となる場合があります。

そのほか、源泉所得税の徴収猶予や還付、廃車となった自動車の自動車重量税の還付などの特例があります。詳しくは、白河税務署(TEL0248-227111)にお問い合わせいただくか、国税庁ホームページをご覧ください。

◆www.nta.go.jp

また、地方税についても、住民税等の特例があります。詳しくは、県南地方振興局県税部(TEL0248-2311512)又は役場自立総務課総務グループ(TEL46-4572)にお問い合わせください。

あなたの「ふるさと寄附金」が被災地支援に

被災地の自治体への寄附金、自治体を通じての被災者への義援金は「ふるさと寄附金」として住民税・所得税の控除が受けられます。日本赤十字社や中央共同募金会等への義援金も「ふるさと寄附金」として控除が受けられます。

詳しくは、総務省東日本大震災関連情報HPをご覧ください。
http://www.soumu.go.jp

献血のお願い

病气やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、日本赤十字社では、16歳から69歳までの健康な方に献血のご協力をお願いしています。

6月15日(水)に献血バスが来町します。現在、O型の血液が不足しています。献血は、健康な方なら誰にでもできる命のボランティアです。ぜひ、あなたのご協力をお願いします。

◆午前8時30分～12時

ユーパル矢祭駐車場

◆午後1時30分～5時

矢祭町役場駐車場



喫煙者の皆さんへ

5月31日世界禁煙デーから6月6日までの1週間は禁煙週間です。今、日本での喫煙者率は、2010年の日本たばこ産業の調査では23・9%であり、習慣的に喫煙している者の割合は減少傾向にあります。

この背景には、公共の場での完全禁煙エリアと完全禁煙車の拡大、たばこの大幅増税、禁煙グッズの売上効果などが挙げられ、高齢化の進行や健康志向の高まり、規制強化、タスポの導入などが要因だと考えられます。

さらに喫煙率を低減させるには、たばこ税の増税、禁煙教育や啓蒙とともに未成年者に喫煙動機を起こさせないための広告の規制、喫煙場所の規制、たばこパッケージへの健康広告の貼付などが挙げられます。

「たばこは百害あって一利なし!」
たばこの煙の中にはニコチン・タール・一酸化炭素・アンモニアなどの有害物質が約200種類も含まれて

平成23年度全国統一防火標語「消したはず 決めつけないで もう一度」

おり、肺がんなど多くの病気の原因となつています。

また、吸っている本人だけでなく、周囲の家族や子ども、仲間や大切な人の健康にも悪影響を与えています。

入国警備官採用試験のお知らせ

仙台入国管理局では、出入国管理行政の第1線で活躍する入国警備官を募集します。平成23年度採用試験を次のとおり実施しますので、バイタリティーあふれるあなたのチャレンジを待っています。

- ◆受験資格
昭和63年4月2日から平成6年4月1日生まれの方
- ◆受付期間
インターネット
7月19日(火)から7月26日(火)
・郵送又は持参
7月19日(火)から8月2日(火)
- ◆第1次試験
9月25日(日)
- ◆第1次合格発表
10月12日(水)
- ◆第2次試験
10月18日(火)・10月19日(水)

◆受験申込み等のお問合せは
仙台入国管理局総務課人事担当
まで
TEL022(256)6076

「子どもの人権110番」強化週間

「子どもの人権110番」は、いじめなどに悩む子どもが発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための相談を受け付ける専用の電話相談窓口です。

6月28日(日)から7月4日(土)まで、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間が実施されます。

全国の法務局・地方法務局で、人権擁護事務担当職員や人権擁護委員(子どもの人権専門委員)が相談に応じます。

受付時間は、平日が午前8時30分から午後7時まで、土日は午前10時から午後5時まで。
相談は無料で秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。
TEL 0120(007)110
(ゼロゼロなのひゃくとおぼん)

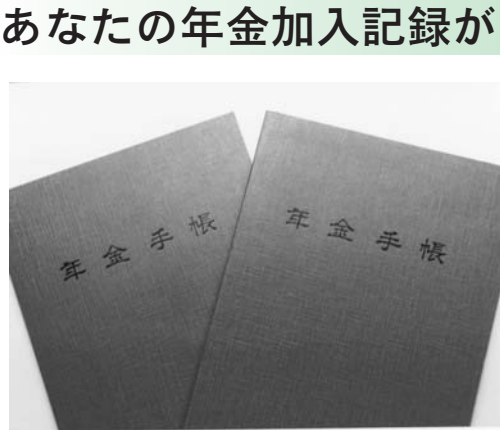
間もなく梅雨入り 食中毒にご注意を

6月に入り間もなく梅雨のシーズンを迎えます。東北南部(仙台市基準)の過去11年間の平均梅雨入り日は6月10日、梅雨明け日は7月23日となっています。

梅雨の時期、いちばん注意が必要なのは、カビと食中毒です。梅雨の合間の晴れた日は衣類や布団など、天日でよく干してください。食品類は新鮮なうちに消費し、古いものは惜しがらずこまめに処分してください。手洗いもきちんと行い清潔さを保ち、自己防衛に徹してください。

- ◆浴室はカビの楽園
- ◆カビは洗面所の湿気を狙っている
- ◆台所はカビにとって食料庫
- ◆窓ガラスや壁の水滴はカビの大好物
- ◆下駄箱はカビの別荘地
- ◆ジュウタンはカビの隠れ家
- ◆押入れの布団にもご用心

役場窓口で確認できます



あなたの年金加入記録が

6月からご自宅や年金事務所だけでなく、役場の窓口でも簡単な手続きで、年金加入者や受給者ご自身の年金加入記録をインターネットで確認することができます「ねんきんネット」サービスが運用を開始しました。確認できる内容は、次のとおりです。

- (1) 公的年金制度(国民年金・厚生年金保険・船員保険)の加入履歴
 - (2) 国民年金保険料納付記録
 - (3) 厚生年金保険に加入していた時の会社名、標準報酬月額、標準賞与額
 - (4) 船員保険に加入していた時の船舶所有者名、標準報酬月額、標準賞与額
 - (5) 年金見込額など
- ◆窓口で手続きを行う場合に必要書類(2つともご持参ください)。
○本人確認書類(運転免許証・保険証)
○基礎年金番号がわかるもの(年金手帳など)または照会番号がわかるもの(ねんきん定期便)
なお、旧法受給者(大正15年4月1日以前生まれの方や昭和61年3月31日以前に老齢年金や退職年金の受給権がある方)や共済加入中の方は、

ご利用いただけませんのでご了承ください。

問 町民福祉課町民グループ
TEL(46)4574

「金婚」を迎えたご夫妻の皆さんへ

町では敬老会の席上、金婚を迎えたご夫妻を表彰いたします。

該当者は昭和36年1月1日から同年12月31日までに結婚されたご夫妻、また昨年申し込み漏れのあったご夫妻です。

該当される方は、申込用紙に必要事項を記入し、7月20日までに各高齢者クラブ又は矢祭町社会福祉協議会へお申し込みください。

問 矢祭町社会福祉協議会
TEL(34)1050

消防の仕事

「危険物安全週間」が6月5日(日)〜6月11日(土)までの1週間実施されます。

これは事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚と啓発を図ることを目的としております。
危険物は火災発生の危険性が大きく、又、火災拡大の危険性もあります。
保管場所や取扱いは十分注意して下さい。

◆矢祭町内の件数
・火災件数 0件
・救急出動 63件
(平成23年1月1日〜5月9日現在)
今もむかしも火の用心
あなたを守る
問 棚倉消防署矢祭分署
TEL(46)2119

人の動き

5月1日現在の住民基本台帳より()内は前月比

人口	6,534人	(-5)
男	3,176人	(-1)
女	3,358人	(-4)
世帯	2,096人	(+1)

●5月中の動き

	男	女	計
◇転入	4人	6人	10人
◇転出	7人	5人	12人
◇出生	1人	1人	2人
◇死亡	4人	2人	6人

矢祭町役場電話番号表(0247) FAX 46-3155

課・グループ名	電話番号
自立総務課	
総務グループ	☎46-3131
企画財政グループ	☎46-4579
税務グループ	☎46-4572
町民福祉課	
健康グループ	☎46-4573
福祉グループ (介護保険)	☎46-4581
生活環境グループ	☎46-4574
町民グループ	☎46-4574
事業課	
事業グループ	☎46-4577
産業グループ (観光担当)	☎46-4576
F A X	☎46-4575
F A X	☎46-3025
議会事務局	☎46-4578
出納室	☎46-4571
山村開発センター	☎46-2097
中央公民館	☎46-2202
教育課	
学校教育グループ	☎46-4580
生涯学習グループ	☎46-2202
F A X	FAX兼用
F A X	☎46-3400

御用のある方は、各課の直通電話をご利用下さい

●町民健康保険税及び国民健康保険税1期
●介護納付金1期
●介護保険料1期
※口座振替日・納期限
6月30日(水)

今月のこの1枚

5月は端午の節句。すがすがしい青空を気持ちよく泳ぐ鯉のぼりは、子宝に恵まれた証し。その鯉のぼりも、最近あまり見られなくなり寂しい限りです。以前のように、あちこちに泳ぐ鯉のぼりを見ることはもうないのでしょか？



[略称] 当…当番医 山開…山村開発センター 塙…塙厚生病院

日	月	火	水	木	金	土
6/5 世界環境デー ●さわやかサイクリング ☎ 和田医院33-2012	6 芒種 	7 運動教室 ●山開(10:00~11:00) ●カンガルーくらぶ	8  ●カンガルーくらぶ	9 1歳6か月児健診 山開(受付13:00~13:15) 母親教室 塙(13:30~15:30) ●カンガルーくらぶ	10 時の記念日  ●カンガルーくらぶ	11 入梅 
12 ☎ 東館診療所46-3165	13 4か月児健診・BCG 受付(13:30~13:40)塙	14 運動教室 山開(10:00~11:00) ●元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ●カンガルーくらぶ	15 シルバー交通安全の日 ●親子ピクス 山開(10:30~11:30) ●愛の献血 ●カンガルーくらぶ	16 母親教室 塙(13:30~15:30)	17  ●カンガルーくらぶ	18 小満 
19 父の日 交通安全話し合いの日 ☎ 大木医院33-2424	20 心の健康相談会 山開(10:00~16:00)	21 運動教室 山開(10:00~11:00) ●カンガルーくらぶ	22 夏至  ●カンガルーくらぶ	23 男女共同参画週間 踏切事故防止の日	24  ●カンガルーくらぶ	25 
26 ☎ 金澤医院46-2312	27 	28 運動教室 山開(10:00~11:00) ●カンガルーくらぶ	29 ●カンガルーくらぶ	30  ●カンガルーくらぶ	7/1 国民安全の日 交通事故ゼロ・歩行者優先の日 ●カンガルーくらぶ	2 半夏生 
3 ●町内一斉クリーン アップ作戦 (6:00~) ☎ 東白川中央病院33-3263	4 	5 運動教室 山開(10:00~11:00) ●カンガルーくらぶ	6 ●カンガルーくらぶ	7 小暑・七夕 ●1歳児健診 山開(受付13:00~13:15) ●母親教室 塙(13:30~15:30) ●カンガルーくらぶ	8  ●カンガルーくらぶ	9 入梅 

本誌に掲載の写真は進呈しますので、ご希望の方は自立総務課までご連絡ください。

赤ちゃん誕生おめでとう

(敬称略)

赤ちゃんの名前 誕生日 保護者 地区
 中野 蓮斗 5/5 裕恵 内川区
 高澤 柚斗 5/9 真貴 岡岡区
 藤田 莉央 5/18 美正 小田川
 長塚 悠斗 5/19 恵進 美治 東川館

おくやみ申し上げます

(敬称略)

亡くなられた方 年齢 届出者 没日 地区
 金澤 文男 64 小林 子 4/21 東川館区
 丸山 政義 101 義一 4/30 内川館
 白坂 廣治 80 嘉海 5/7 下石井
 小林 孝 90 春男 5/9 下石井
 金澤 孝 85 明 5/11 東川館
 金澤 孝 90 孝行 5/16 内川館

あ・亡・が・き

◆早苗振りとは、田植えが終わって一息つき神に感謝すると共に、手伝ってくれた人々を招待して、ご苦労に感謝した宴のことでした。◆今は機械化が進み、家族だけで田植えを済ませるところが殆ど。◆福島第一原発事故、暗いトンネルの中を必死で出口を探しています。一刻も早く先の明かりが見つかると願うばかりです。◆今月も町内ではさまざまなお出来事がありました。早苗振り休暇をとり、ゆっくりと広報紙を読んでみてください。

(青砥)